

■コメント

1. 手足口病

定点当たり6.13人の報告がありました。3週続けて、報告数は減少していますが、多い状況が続いています。

手足口病は、口の中や手足などに水疱性の発しんが出るウイルス性の感染症で、接触感染や飛沫感染などで感染します。

手洗いの励行、排泄物の適切な処理、タオルやハンカチの共用は避けるなど、感染予防対策を徹底しましょう。

【参考】

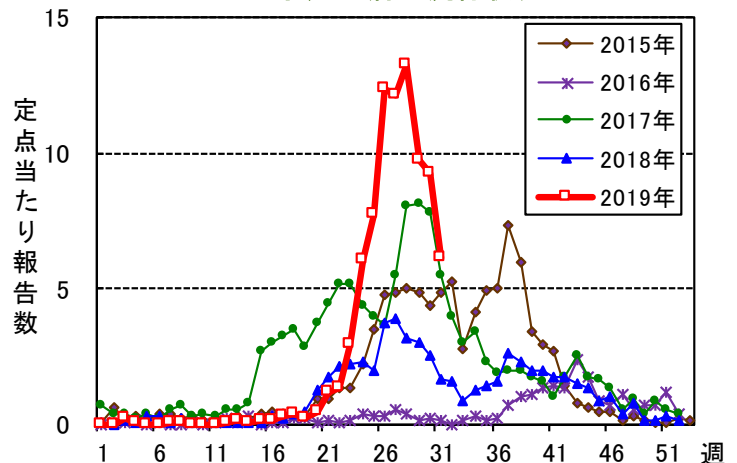
・手足口病に関するQ&A(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/hfmd.html>

・正しい手の洗い方(感染症予防のために手を洗いましょう)(広島市感染症情報センター)

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1267092348907/index.html>

手足口病の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	1	0.03	0.12		小児科	流行性耳下腺炎	3	0.13	0.82	
	咽頭結膜熱	6	0.26	0.49		眼科	RSウイルス感染症	11	0.48	1.17	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	32	1.39	1.78			急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	98	4.26	3.88			流行性角結膜炎	5	0.63	1.40	
	水痘	3	0.13	0.42			細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	141	6.13	2.52			無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	伝染性紅斑	12	0.52	0.28			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.34	
	突発性発しん	7	0.30	0.50			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	34	1.48	2.45			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	102	男性(80歳代)・2人、女性(80歳代)・1人、女性(90歳代)・1人
4	レジオネラ症	2	17	女性(60歳代)、男性(70歳代)
5	百日咳	1	33	男性(10歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶血性 球菌咽頭 炎	感染性胃 腸炎	水痘	手足口 病	伝染性紅 斑	突発性発 しん	ヘルパン ギーナ	流行性耳 下腺炎	RSウイル ス感 染症	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎	(ロタウイル ス)	感染性胃腸 炎
報告数	広島市	第27週	-	25	45	127	5	279	6	10	60	2	3	1	7	-	-	-	-	-	-
		第28週	-	21	46	125	8	304	9	11	56	5	6	-	5	-	-	1	-	-	-
		第29週	-	18	46	86	7	223	5	6	37	3	8	-	7	-	-	1	-	-	-
		第30週	-	9	39	80	10	213	10	6	46	2	16	-	8	-	-	-	-	-	-
		第31週	1	6	32	98	3	141	12	7	34	3	11	-	5	-	-	-	-	-	-
定点当 たり	広島市	第27週	-	1.09	1.96	5.52	0.22	12.13	0.26	0.43	2.61	0.09	0.13	0.13	0.88	-	-	-	-	-	-
		第28週	-	0.91	2.00	5.43	0.35	13.22	0.39	0.48	2.43	0.22	0.26	-	0.63	-	-	0.14	-	-	-
		第29週	-	0.78	2.00	3.74	0.30	9.70	0.22	0.26	1.61	0.13	0.35	-	0.88	-	-	0.14	-	-	-
		第30週	-	0.39	1.70	3.48	0.43	9.26	0.43	0.26	2.00	0.09	0.70	-	1.00	-	-	-	-	-	-
		第31週	0.03	0.26	1.39	4.26	0.13	6.13	0.52	0.30	1.48	0.13	0.48	-	0.63	-	-	-	-	-	-
	全国	第29週	0.19	0.47	1.51	3.38	0.28	12.01	0.90	0.41	2.54	0.10	0.66	0.01	0.62	0.01	0.04	0.16	0.01	0.05	
		第30週	0.16	0.49	1.48	3.42	0.33	13.42	0.88	0.44	2.97	0.12	1.01	-	0.74	0.02	0.04	0.18	-	0.03	

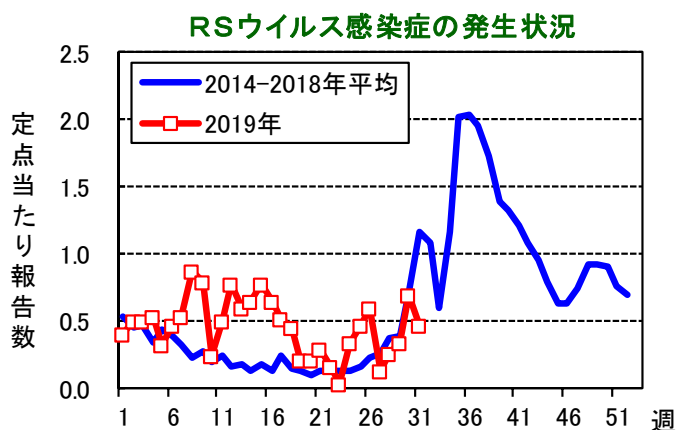
■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
手足口病	発熱(39.0) 丘疹 水疱	1	女	2019/06/15	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA6型
その他の呼吸器疾患	気管支炎 咳嗽 喘鳴	12	男	2019/06/13	咽頭拭い液 鼻汁	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(39.4) 上気道炎	0	男	2019/06/16	咽頭拭い液	パレコウイルス3型 ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(37.9) 気管支炎	10	男	2019/06/23	咽頭拭い液 鼻汁	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 気管支炎	1	男	2019/06/24	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス3型
その他の消化器疾患	嘔吐 腹痛	0	男	2019/06/14	糞便	パレコウイルス2型
その他の消化器疾患	発熱(38.4) 嘔吐	0	男	2019/06/22	糞便	パレコウイルス3型
その他の疾患	発熱(40.0)	0	男	2019/06/26	咽頭拭い液 糞便	パレコウイルス3型
その他の疾患	発熱(38.1) 黄疸	0	男	2019/06/27	糞便	エコーウイルス30型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市におけるRSウイルス感染症の発生状況について



RSウイルス感染症は、RSウイルスによる急性呼吸器感染症です。症状は、軽いかぜのようなものから細気管支炎や肺炎などの重篤なものまでさまざまです。特に、生後数カ月までの乳児が初感染した場合は重症化しやすいため、注意が必要です。

例年、夏から秋にかけて報告数が増加する傾向にあり、今後の動向に注意が必要です。

手洗いの励行、咳エチケットなど感染予防対策を心がけましょう。

【参考】RSウイルス感染症Q&A(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.html

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2019年第31週(7月29日~8月4日)